海外邦人安全対策連絡協議会（議事要旨）

2026 年 10 月 13 日（火）11:00-11:30

１　大使館からの報告等

（総括公使）

９月１日に髙林の後任として着任した富山と申します。

当地では、引き続き規模の大きいデモや抗議活動が続いており、火山噴火などの自然災害や一般犯罪も発生しています。噴火に伴う健康関連の情報や流行りの感染症など、日頃からのこのような事案に対する対応が、さらに大きな事が起きた時のためにも重要と思っています。かつて当地では大規模なテロや暴動が起きたことも忘れることなく、大使館が有する情報を積極的に共有させていただくとともに、日系団体・企業の皆様からの声を頂戴し、有意義な情報交換の場として本会議を積極的に活用していきたい意向です。

これからどうぞよろしくお願いします。

（医務官）

インドネシア国内の感染症状況について

インドネシア保健省による感染症トレンドレポート第３９週（１０/３までのデータ）によれば、報告数の多い感染症は、呼吸器系感染症、下痢症、インフルエンザ症状、肺炎、腸チフスの５つとなっています。

このうち、呼吸器系感染症には、呼吸器感染症、インフルエンザ様の症状及び肺炎がありますが、これらは９月頃より増加傾向にあり、乾季及び山火事等の空気汚染も要因であると考えられます。また、下痢症は年間を通じて見られる一方、腸チフスはここ数週間増加傾向のため注意が必要です。

その他、蚊媒介感染症については、デング熱の疑い症例ということで２０２６年は去年より全体的に低いレベルですが、若干増加傾向にあるので今後の注意が必要です。

チクングニア熱については、特に高い症例数ではないものの、雨季に入ると蚊が増えるため注意が必要です。

マラリアに関しては、確定症例になりますが、２０２５年から高い状況が続いています。ただし、感染の多くはインドネシア東部のパプア地域に集中していますので、当該地域へ行かれる方はご注意ください。

下痢症については、衛生状態の良いところを選んで食事をする、呼吸器感染症については、マスク・手洗いを実施するなど、感染症予防に努めてください。

保健省感染症サーベイランス報告書：

https://surveilans.kemkes.go.id/berita/laporan-mingguan-situasi-terkini-penyakit-infem-dan-potensial-klb-wabah-m39-2026

（警備班）

注意喚起：大規模デモ等について

９月２４日、ジャカルタ中心部の Sudirman、Thamrin、Bundaran HI 周辺等において、労働組合を中心とする大規模デモが発生し、警備強化や交通規制により周辺の交通にも影響が生じました。

引き続きインドネシア各地では抗議活動やデモが継続して発生していることから、在留邦人の皆様におかれましては、改めて以下の点に十分ご注意ください。

・デモ・集会の開催場所には近づかない。

・デモが予定されていない場合でも、国会、政府機関、警察施設等の周辺では突発的な抗議活動に注意する。

・SNS 等でデモ情報を確認した場合は、未確認情報や過去映像の再拡散等にも留意し、複数の情報源で真偽を確認する。現場の状況を確認するために近づくことは避ける。

・デモ発生時には道路封鎖や大きな渋滞が発生する可能性があるため、移動経路を変更するなど慎重に行動する。目的地が安全であっても、途中の道路が通行不能となる可能性がある。

・車両で移動中にデモや群衆に遭遇した場合は、無理に通過せず、速やかにその場から離れる。

デモの場所、時間、規模等は直前に変更される場合もあるため、外出・出勤前には最新情報を確認することが重要です。特に、駅や空港への移動、会議・出張、子どもの送迎、病院への通院、工場・事業所への移動等の際は、通常より時間に余裕を持つとともに、代替ルートを事前に確認することを推奨します。

また、不測の事態に備え、家族・同僚との安否確認方法、WhatsApp 等の連絡グループ、勤務先への連絡方法、通信障害時の代替連絡手段、緊急連絡先等をあらかじめ確認してください。外出を控える必要が生じた場合に備え、飲料水、食料、常用薬、モバイルバッテリー等も一定程度確保しておくことを推奨します。これらの備えは、騒乱のみならず、地震や洪水等の自然災害への備えとしても有効です。

（警備班）

注意喚起：いわゆる「パンク窃盗・パンク強盗」について

当地報道によれば、９月２８日、カラワン県チカンペックにおいて、外国人を含む３名 が乗車する車両が、銀行から現金を運搬中、複数の人物に尾行された上、「タイヤがパンク している」と声を掛けられて停車したところ、車両の窓ガラスを割られ、車内に保管して いた現金約１３億ルピアを奪われる事件が発生しました。

今回の被害者は邦人ではありませんが、銀行から多額の現金を引き出した後に尾行され、 移動中に犯行に及ぶという手口であることから、当地において現金を取り扱う際には十分 な注意が必要です。

パンクを指摘されても、直ちに停車せず安全な場所まで移動する、車外に出る際は必ず 窓を閉めドアロックを確実に行う、車外に出る際は交通事故防止及び犯罪被害防止のため 周囲の状況を十分に確認する、などの対策を講じてください。

（領事部）

注意喚起：インドネシア国内における自然災害等について

（１）地震について

８月１５日にフローレス島付近で発生したＭ７．７の地震では、９月１５日時点で１５，７２２回の余震が記録されたものの、現在は減衰傾向にあります。また、９月１２日にはジャカルタ沖でもＭ６．５の比較的大きな地震が発生しており、日頃からの備えと発生時の冷静な対応が不可欠です。特に、海岸付近で揺れを感じた場合には津波情報に警戒し、必要に応じて直ちに高台等の安全な場所へ避難してください。

また、SNS 等の未確認情報やデマに惑わされることなく、インドネシア気象庁（BMKG）などの公式発表を通じて、正確な最新情報の収集に努めてください。

（２）森林火災について

スマトラ島やカリマンタン島を中心に発生している森林・泥炭地火災では、依然として多数のホットスポットが確認されています。１０月に入り一部地域で降雨があるものの乾燥状態は続いており、地中で燻り続ける泥炭火災は本格的な雨季に入るまで局所的に再燃する可能性があるため、火災や煙害への警戒継続が必要です。煙害は目や喉への刺激、呼吸器系への影響に加え、視界不良による交通・航空便の乱れを及ぼす可能性があります。そのため、対象地域への不要不急の外出を控え、マスクの携行や最新の大気汚染・気象状況、航空便の運航情報の確認を推奨します。

また、これからの時期は雨季への移行期（パンチャロバ）にあたり大気が不安定なため、短時間の豪雨、落雷、突風に注意が必要です。保水力が低下した火災跡地での土砂崩れや泥流災害、都市部での急激な道路冠水（アンダーパス等）にも備え、最新の気象情報の収集に努めてください。

（３）火山活動について

９月上旬に発生したアナック・クラカタウ山の火山活動は、９月２１日に、突発的な大爆発の恐れがある「Level III（Siaga）」から、ガスや火山物質を間欠的に噴き出す小規模な噴火が多発する恐れである「Level II（Waspada）」に引き下げられましたが、１０月９日に再び「Level III（Siaga）」に引き上げられております。また、火口から半径５km 以内への立ち入りが禁止されているほか、噴石や大量の火山灰等への注意が呼びかけられております。

ジャカルタにおいても、今後活動が再び活発化した場合には、風向き次第では降灰や航空網への影響が生じる可能性もあるため、特に国内外へ移動する時には、空港や利用航空会社に運航状況等を事前に確認するようにしてください。

（参考）

インドネシア気象庁（BMKG）公式サイト及び航空気象情報サイト

https://www.bmkg.go.id/

https://web-aviation.bmkg.go.id/va-map.php

スカルノ・ハッタ空港の運営会社公式サイト
https://soekarnohatta.injourneyairports.id/information/flight

（領事部）

情報共有：日本における消費税免税制度について（リファンド方式への移行）

１１月１日から、消費税免税制度がリファンド方式へ移行します。これまで免税購入対象者は、免税対象物品を税抜価格（免税）で購入することとされていましたが、リファンド方式移行後は、免税対象物品を通常価格（税込）で購入し、購入日から９０日以内に出国時に空港等（税関）で物品を国外に持ち出すことが確認された後に、免税店等（空港トランジットエリア内の免税店を除く）から消費税相当額の返金が行われることとなります。

（参考）消費税免税制度リファンド方式リーフレット（旅行者向け）
https://www.mlit.go.jp/kankocho/tax-free/content/001991772.pdf

リファンド方式に移行後、日本国籍を有する非居住者（一時帰国者）が国外に２年以上居住することを証明する書類として、現行制度の在留証明又は戸籍の附票の写しに加え、国外転出者向けマイナンバーカード（カード代替電磁的記録（スマートフォンのマイナンバーカード）を含む）が追加されます。また、これら書類への本籍（地番含む）の記載が不要になります。さらに従来は国外に引き続き２年以上居住していることの確認につきましては、「在留証明及び戸籍の附票の写しに記載されている海外に住所を定めた日（それに準ずる記載）から発給日（作成日）までの期間」で判定されていましたが、リファンド方式移行後は発給日（作成日）にはかかわらず「国外転出予定日（国外定住日）※から最終入国日（旅券に記載された「上陸年月日」（帰国年月日）までの期間」に変更となります。

※「国外転出予定日（国外定住日）」とは、具体的にはマイナンバーカードの「国外転出予定日」、在留証明の「この場所に住所を定めた日（現住所の証明と同時に過去の住所証明を行う形式２の場合は過去の住所を含む）」及び戸籍の附票の写しの「海外に住所を定めた日」「出国予定日」等を指します。

なお、在留証明及び戸籍の附票の写しの作成日が最終入国日から起算して６月前の日以後であるものに限られるという点、及び自動化ゲートで入国した場合は旅券に入国証印が押されず免税の適用を受けられない場合がある点に変更はありませんので、引き続きご留意ください。

（参考）消費税免税制度リファンド方式リーフレット（旅行者向け）
https://www.mlit.go.jp/kankocho/tax-free/content/001991772.pdf

（参考）リファンド方式移行後の免税購入対象者（日本国籍）を確認する書類について
https://www.mlit.go.jp/kankocho/tax-free/content/001977888.pdf

消費税免税制度に関する詳細及びご相談は、観光庁や国税庁の WEB サイトをご確認いただくか、 相談窓口へ直接お問い合わせください。

・観光庁ホームページ
https://www.mlit.go.jp/kankocho/tax-free/
・国税庁ホームページ
https://www.nta.go.jp/publication/pamph/shohi/menzei/201805/format/002.htm
・相談窓口
https://www.mlit.go.jp/kankocho/tax-free/support.html

２　出席者からのコメント、各社・団体からの報告等

■企業（警備・東部工業団地）

今月末頃から、例年どおり、インドネシア労働省が改訂方針を決定する予定ですが、おそらく最低賃金をめぐる議論が活性化すると思われます。インフレ率や経済成長率を背景にデモ活動が増加する可能性があります。ジャカルタはもちろんのこと、ブカシ・チカランなどの郊外エリアも含めて十分ご注意ください。

また、今月１８日にアルファマート主催によるマラソンイベントがスナヤン地区の GBK で開催されます。さらにジャカルタ・ランニング・フェスティバルが１０月２２日から２５日まで GBK で開催され、ハーフマラソンやフルマラソンなどの各種イベントが予定されています。

また、１０月３１日及び１１月１日には JJM（日本祭り）も予定されており、人ごみの多いこれらのイベント会場ではスリなどに十分ご注意ください。

https://run.alfamart.co.id/
https://jakartarunningfestival.id/

■バンドン日本人学校

９月３０日(水)、学校に隣接するワルン（屋台）が撤去されることで一時的な騒動が発生しました。午前８時頃より人が集まり始め、バリケードを作りタイヤを燃やし始めました。学校の外が騒がしくなってきたため、警備員から報告を受けましたが、その後、ガソリンでタイヤを燃やした煙が校内に入ってきたことから、学校側で危険と判断し、1 時間目の授業中ではありましたが臨時休校を決定しました。直ちに１４家庭に電話連絡を行い、９時過ぎに下校開始、１０時頃までに生徒全員の引き渡しを完了しました。

学校から大使館へは９時１５分頃に連絡を行いましたが、騒動発生から大使館報告まで１時間ほどかかってしまったことが今回の反省点です。大使館から現地警察当局へ警備強化を要請していただくこととなり、９時２０分頃に校長が現場に赴き、警察に対し警備強化を要請しました。その頃には騒動は沈静化し、撤去作業も進んでいたことから、外へ出ることが可能な状況となっていました。

また、午後３時頃にはワルンの撤去がほぼ完了しており、午後３時５０分頃には翌日の安全が確認されたことから、学校再開を決定しました。

今回の対応を通じて、大使館のご指導・ご協力のもと、実施してきた２回の避難訓練の経験が実際の現場で大変有効に働いたと実感しております。今回のご指示も含めて、大使館の皆様には平素からの支援に心より感謝いたします。今後も避難訓練を大切にしつつ、児童の安全を守ることを第一優先に学校運営を行っていきたいと思います。

３　次回の開催予定等

次回開催は１２月８日（火）１１時からオンライン会議を予定しております。

※１１月１０日（火）の開催につきましては、１１月初めに開催要望をお伺いする予定です。

以上